

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

岡村 浩雅 議員
Hiromasa Okamura



YouTube



DX化の推進について

▶ 業務軽減に大きく貢献をしている

Q DX化の現状および課題は。業務軽減につながっているか。

A 令和4年度に導入した文書管理システム、公会計システムの電子決裁への移行は、業務効率化に向けた最も大きな変革となった。また令和5年度には勤怠管理システムを導入し、職員の出退管理の適正化と時間外勤務の集計などに係る事務負担の軽減に大きな効果を上げている。課題は、イニシャル・ランニングコストが伴うこと、そのコストに見合うだけの効果の有無、広く職員がシステムを使いこなして業務効率化の効果を実感できるかどうかである。

Q 今後の目標は。具体的な事業は。

A DX推進員を通じ、庁内におけるIT理解度の格差を解消していく。
具体的な事業としては、令和7年度予定の窓口でのキャッシュレス決済システムの導入に合わせて、現金とキャッシュレスを並行で利用する場合であっても従来よりも手続きが効率化できるよう進めていく。

Q 茨城県下妻市では、業務アプリを開発できる※「ノーコードツール」を活用して自分の業務を改善できる仕組みをとっている。そこで本市でも活用したらどうか。

A 参考になる取り組みであると感じている。



地域の防犯体制強化について

Q 石破政権は、本年度補正予算において防犯体制強化のための予算を計上した。そこでこういった補助を利用し、行政区や商店街への防犯カメラ設置への補助を実施したらどうか。

A 新年度予算への計上を念頭に検討を進めていく。



蒲須坂駅の防犯カメラ

その他の質問

◆ 带状疱疹ワクチン接種について

※ ノーコードツール

プログラミングの知識やスキルがなくても、直感的な操作でWebアプリケーションなどのソフトウェア（業務アプリや業務システム）を開発できるツール。



加藤 誠一 議員
Seichi Kato



YouTube

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

17 さくら市第3次※総合計画策定の取り組みについて

▶身の丈に合った展望で、多くの課題に的確に向かい合える重点施策を設定する

Q 総合計画と、少子化対策プロジェクトとの関わり方は。

A 少子化対策は総合計画の重点施策として位置づけられており、プロジェクトで具体的施策等を検討し実行していく。

年 度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
	H27	H28	H19	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
基本構想	第2次基本構想（10年）										
手段											
基本計画	基本計画（2016－2020）						基本計画（2021－2025）				
手段											
実施計画	実施計画 ※						実施計画 ※				

計画の構成と期間のイメージ

Q 市民の声をどのように捉えるのか。

A より多角的な意見を把握するためインターネットアンケートを個別に実施する。

Q 財政的には厳しい状況が続くと思うが見通しは。

A 財政計画は相当厳しい状況になる。

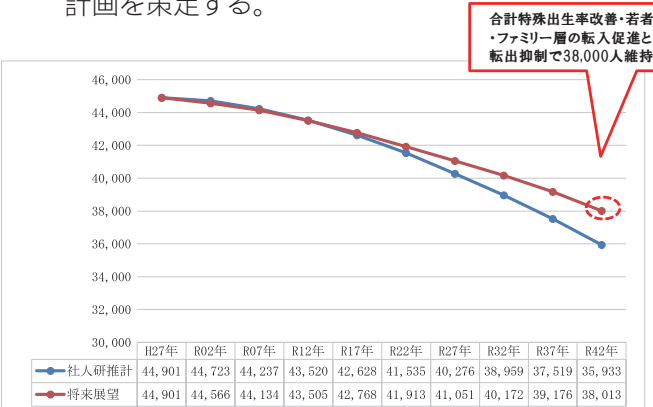
※総合計画

地方自治体における行政運営上の最上位計画であり、自治体の将来目標や施策を示し行政運営を推進するまちづくりの基本的指針であり基本構想、基本計画、実施計画の3層で構成される。

17 第2期さくら市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組みについて

Q 第2期計画の総括と、第3期計画策定に向けて取り組みは。

A 本計画は人口減少対策に特化した計画であり、総合的にみて比較的良好な達成度となっている。引き続き目標達成のため尽力をしていく。令和42年（2060年）に人口38,000人を維持する展望を掲げ次期総合計画と整合性を保ち、第3期の計画を策定する。



さくら市の人口の推移と将来展望

3 第3期さくら市子ども・子育て支援事業計画策定について

Q 計画策定の現状、総括、今後のスケジュールは。

A 多様化するニーズに柔軟に対応することができた。課題となる少子化対策については少子化対策プロジェクトを発足して取り組んでいく。今後、計画案をまとめパブリックコメントを実施する。

その他の質問

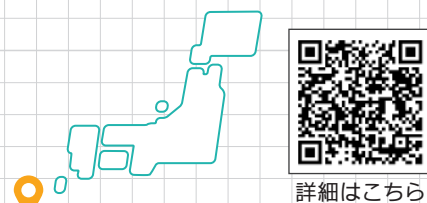
◆終活支援の取り組みと新たな取り組みは

議会運営委員会

日時 令和6年10月15日(火)～17日(木)

📍 沖縄県南城市

市議会としては初となる「議会基本条例」を平成24年3月に制定、同年6月から運用を開始しています。特徴としては、二代表制の趣旨を踏まえて、市長と議会の機能的対峙姿勢を保ちながら議会自らを改革していくことについて掲げていることと、議案審議等において議員間で課題や論点を導き出す「議員間討議」で、市民に対して議決責任や説明責任を果たすことを議会改革の第一の責務としています。



詳細はこちら



感想

議会基本条例で執行部に提出を義務付けている資料が、「その事業の目的、財源等」を記載する専用の書式で統一されており、関係ある法令や条例との整合性や、総合計画等との整合性、政策を提案するにあたっての背景や将来にわたる効果なども記載箇所がありました。この一枚（一事業につき）で詳細にわたって検討できる内容になっていて素晴らしいと感じました。



📍 沖縄県読谷村

平成21年10月に、沖縄県内で初めて「議会基本条例」を制定しました。特徴は、①村民参加及び村民との連携 ②質問、質疑における質疑応答の方法 ③政務活動費の交付 ④議会広報活動の4つを明記していることです。

議会の情報は、議会のライブ配信や議会報告会、村民との意見交換会の開催等、積極的に公開して、開かれた議会を目指し、住民の議会への関心を高める取り組みが行われています。特に、「村民との意見交換会及び議会報告会」は、毎年開催され、村民から議会や村政に対する意見や疑問等を聴き、村政への政策提言に反映させる機会となっています。

感想

政務活動費が支給されており、それを活用し、どの議員も活発に調査研究を行っていました。その裏付けとして、政務活動調査で知り得た知識をもとに、議長以外の全議員が一般質問に立っていました。所属委員会の所管に縛られることなく調査研究できるなど、メリットが多いと感じました。

📍 沖縄県南風原町

平成23年6月に議会活性化調査特別委員会を設置し検討を開始して以降、39回に及び会議を開催した他、条例制定に至るまでに、全議員を対象とした研修会や町民を対象とした講演会を実施する等、議会と町民が一体となって学び、条例制定に取り組んでいます。また、一般町民にもわかりやすい逐条解説をつけた「議会基本条例 保存版パンフレット」として作成され、全戸配布やホームページを通して町民に公開しています。「議会基本条例」は、町民の意見や社会情勢の変化を踏まえ、必要に応じて見直しを行うこととしており、条文ごとの評価項目を設定し、議会活性化特別委員会において継続した検証が行われています。



感想

「議会基本条例」を定めて終わりではなく、その後の運用、見直し、検証とプロセスを大切にしているのが素晴らしいです。また、この条例で縛られるのではなく、条例があるからこそ議員が活動しやすくなるという本質が守られて運用されている点に、議会としての本質を見ました。

No.80

先進地に学ぶ

文教厚生常任委員会

日時 令和6年11月6日(水)～8日(金)



詳細はこちら

福岡県古賀市 「全小・中学校の水泳授業の民間委託について」

古賀市では、令和5年7月から全小・中学校の水泳授業を民間事業者へ委託し、インストラクターから専門的な指導を、屋内プールで季節や天候に左右されことなく計画的に受けられる環境を整え、児童・生徒の泳力向上につなげています。また、各学校のプールの改修や維持管理費・更新に係る費用の大幅な削減や、教職員がこれまでに担っていた維持管理に関する負担軽減にもつなげています。



感想

水泳授業を民間事業者に委託することで、児童・生徒の泳力向上にも繋がり、教職員の負担も軽減できるため、さくら市の「プール最適化基本方針」の参考にすべきであると感じました。

福岡県志免町

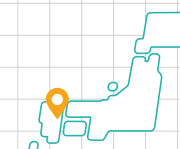
「シーメイト(総合福祉施設)の活用と環境に優しい省エネ設備について」



志免町総合福祉施設の愛称「シーメイト」は、健康と福祉を考慮した総合福祉施設です。施設には、環境にやさしい省エネ設備として、太陽光発電、太陽熱利用ソーラー、外気を取り入れ熱交換による空調を行う省エネタイプ集中管理システム、太陽光と風力を利用して発電し明かりを灯すハイブリット街灯を設置しています。さらに雨水を貯水槽に貯め、散水や火災時の防火用水として再利用にも取り組んでいます。

感想

環境に優しい省エネ設備の導入は、さくら市でも見習うところがあると感じました。



大分県大分市

「大在東小学校(令和6年4月開校)の特色について」

大分県大在地区は、2045年におよそ18%の人口増加が見込まれることから、19年ぶりに小学校を新設し、令和6年4月に大在東小学校が開校しました。

感想

大在東小学校は、ジェンダーフリートイレの設置や、災害時に3日間電力供給が可能な非常用発電機を備えるなど、学校をさまざまな用途に使えるよう整備した小学校です。これからの小学校新設や増築時の参考にすべきと感じました。

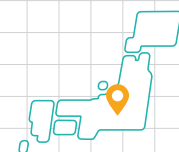


No.80

先進地に学ぶ

総務常任委員会

日時 令和6年10月29日(火)～31日(木)



詳細はこちら

長野県塩尻市 「MEGURUプロジェクトについて」

地域課題を自ら解決できる「『人』と『物』の基盤づくり」を市の総合計画に掲げ、外部の人材を受け入れ、地域・社会課題解決をビジネス視点で解決につなげる官民連携事業を展開しています。「NPO法人MEGURU」を中心に、市、商工会議所、大学、企業等が連携し、「地域の人事部」を立ち上げ、地域が一体となって人材育成や確保、定着を目指す様々な事業や、「副業」を通じて地域外人材と継続的に関わり、地域課題解決を目指す「MEGURUプロジェクト」などを実施しています。



個人の成長と地域の成長が自律的に循環する
地域の人事部事業と関係人口創出事業

感想

人口減少社会における最大の課題を「働き手」と位置づけ、従来企業が向き合う課題であった人材の確保、発掘、教育の部分を地域全体で担っていくという視点には驚かされました。外から人材を確保すべく、地域に縛られず、「副業」という性質を上手く利用し、個人の「自己実現」と地域貢献を両立されている仕組みは見事でした。

山梨県小菅村

「過疎地域におけるドローン物流サービスについて」

少子高齢化による過疎化が進展する中、高齢者や子育て世代の買い物支援が急務となっていました。そこで、村とドローンの開発企業等が連携協定を締結し、ドローン定期配送と買物代行サービスを開始しました。



感想

配送効率の改善という物流面でのメリットだけではなく、人口減少・少子高齢化による労働力不足や過疎地域における交通問題、医療問題、災害対策、物流弱者対策等の様々な社会課題の解決や、住民の利便性の向上、地域の活性化をも推進する大変有意義な取り組みでした。

神奈川県平塚市

「平塚文化芸術ホールを中心とした見附台周辺地区のまちづくりについて」

市民センターを中心に多くの公共施設が立地するエリアで、公共施設の老朽化が課題となっていた見附台地区周辺を再整備しました。その際、地域文化の拠点として平塚文化芸術ホールを整備し、あわせて商業・業務等の施設を誘致し、既存の公園や緑地機能を高めました。それにより、市民の利便性の向上と中心市街地の活性化、新たな賑わいの創出につながっていました。



感想

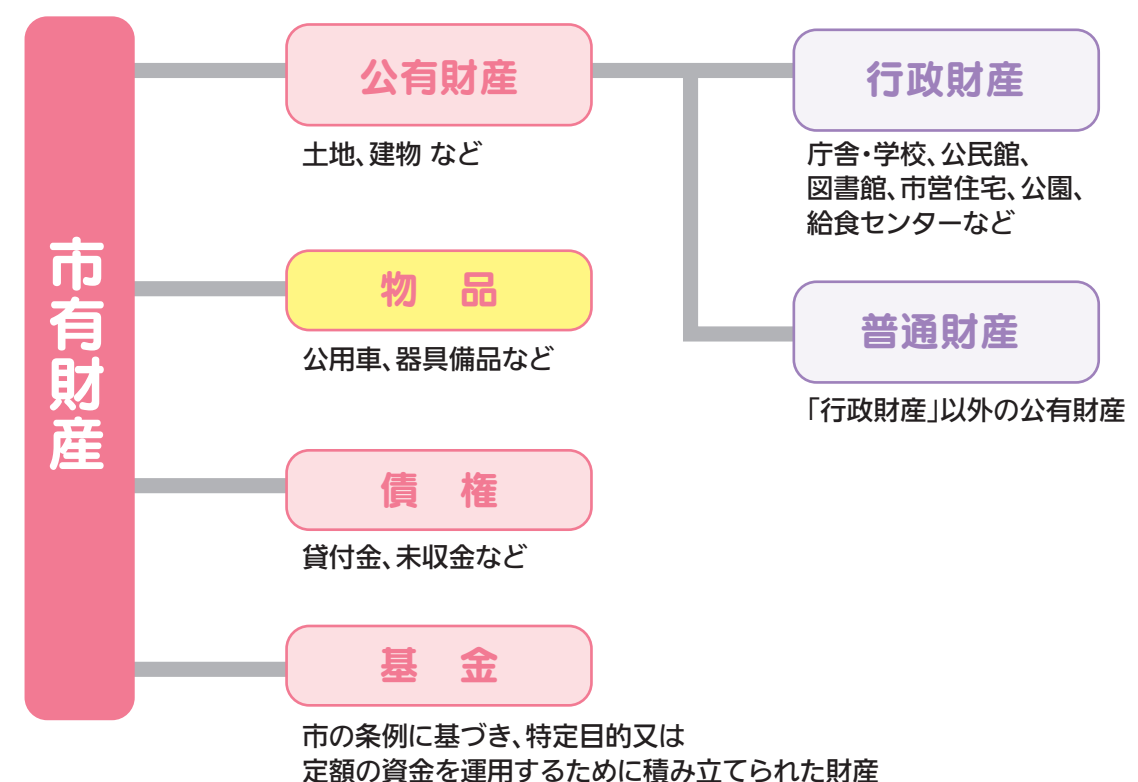
まちの活性化につながるような大きなプロジェクトにはそれを展開していくだけの用地が必要です。DBO方式(デザイン、ビルド、オペレーション)のように公共が資金調達をし、民間が設計、建設、維持管理・運営を行っていく方式を導入し、民間の発想で事業を展開していく方法を検討すべきだと感じました。



市有財産とは

学校給食センター新設に伴い食器・食缶等を6,820万円で購入する議案が追加提出され可決されました。
食器等は、市の財産の「物品」に当たり、今回2,000万円以上の買い入れとなるため、「さくら市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」により議会の議決が必要となるためです。

市が所有する財産は地方自治法によって以下のとおり分類されます



給食センター(完成予定図)

No.80

先進地に学ぶ

建設経済常任委員会

日時 令和6年11月6日(水)～8日(金)



詳細はこちら

富山県富山市

「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」

コンパクトなまちづくりのための要件は、公共交通の活性化、公共交通沿線地区への居住誘導、中心市街地活性化などです。人口規模、財政規模は富山市に及びませんが、本市も目指す方向は一緒です。



感想 富山市の事例を参考に、本市の氏家駅東口開発、蒲須坂駅前周辺開発に活かしてほしいです。

福井県大野市

「道の駅越前おおの 荒鳥の郷」

「道の駅越前おおの」の特徴は、近隣でアウトドアスポーツが盛んなことから、カヌーやクライミングが楽しめる施設を併設しています。また福井県内初出店となる「monto-bell」が隣地に出店、キャンピングカー用のRVパークを15区画用意するなど、アウトドアファンの誘客に力を入れています。



感想 本市も道の駅きつれがわにキャンプサイトを設置したが、今後このような活用も検討すべきであります。

石川県小松市 「木場潟公園 東園地 木場潟さとしるべ」

園内が立入禁止となったため、外観からの視察のみとしました。

● 議会レポート

■ 全国市議会議長会 研究フォーラムin盛岡

10月9日～10日
・笹沼 昭司 議長
・加藤 朋子 副議長

■ 県市議会議長会議

10月24日
・笹沼 昭司 議長
・加藤 朋子 副議長

■ 県市議会議長会議員及び 事務局職員研修会

10月24日
・笹沼 昭司 議長
・加藤 朋子 副議長
・加藤 誠一 議員
・落合 千枝子 議員
・高瀬 一徳 議員
・吉田 雄次 議員
・岡村 浩雅 議員
・福田 克之 議員
・永井 孝叔 議員
・若見 孝信 議員
・石岡 祐二 議員
・渋井 康男 議員
・鈴木 恒充 議員
・角田 憲治 議員
・小堀 勇人 議員

■ 塩谷市町村議会議長会 行政視察研修

10月28日～29日
・笹沼 昭司 議長

■ 県北五市議長会議

11月25日
・笹沼 昭司 議長
・加藤 朋子 副議長

■ 塩谷市町村議会議長会

12月19日
・笹沼 昭司 議長

■ 塩谷広域行政組合議会 議員会・全員協議会・ 定例会

10月4日
・福田 克之 議長
・笹沼 昭司 議員
・石岡 祐二 議員
・鈴木 恒充 議員
・小堀 勇人 議員

■ 各種委員会等出席

● さくら市消防委員会
10月18日
・笹沼 昭司 議員
・石岡 祐二 議員
・渋井 康男 議員

● さくら市公共下水道
審議会
12月25日
・若見 孝信 議員
・手塚 定 議員

■ 監 査

● 定期監査
10月1・8・10日
11月6日
・渋井 康男 議員

● 例月現金出納検査
11月25日
・渋井 康男 議員
12月25日
・福田 克之 議員

● 財政援助団体等監査
12月25日
・福田 克之 議員

■ 視察等来訪

10月7日
新潟県見附市議会議
会運営委員会の委員
ほか11名が「オンライ
ン委員会」について視
察に訪れました。

10月8日
鹿児島県南さつま市
議会産業厚生委員会
の委員ほか10名が「
特定保健指導実施率
の高さ」について視察
に訪れました。

10月16日
神奈川県愛川町議会
教育民生常任委員会
の委員ほか8名が「健
康増進事業」について
視察に訪れました。

12月24日
栃木県高根沢町議会ま
ちづくり常任委員会
の委員ほか8名が「議
場の音響システム」につ
いて視察に訪れました。

● 議会の動き

10月

1日 定期監査
3日 建設経済常任委員会
4日 塩谷広域行政組合議会議員会・全員協議会・定例会
7日 新潟県見附市議会議会運営委員会視察来訪
8日 定期監査
鹿児島県南さつま市議会産業厚生委員会視察来訪
9日 全国市議会議長会研究フォーラムin盛岡（～10日）
10日 定期監査
11日 八市親善ゴルフ大会
15日 議会運営委員会行政視察（～17日）
16日 神奈川県愛川町議会教育民生常任委員会視察来訪
18日 さくら市消防委員会
19日 春の院展栃木展
21日 議員全員協議会
さくら市立中学校国際交流事業（アメリカ派遣）結団式
22日 議会広報委員会
24日 県市議会議長会議
県市議会議長会議員及び事務局職員研修会
25日 議会報告会
28日 塩谷市町村議会議長会行政視察研修（～29日）
29日 総務常任委員会行政視察研修（～31日）

11月

1日 議会広報委員会
さくら市農政懇談会
3日 さくら市民体育祭秋季大会
6日 定期監査
文教厚生常任委員会行政視察研修（～8日）
建設経済常任委員会行政視察研修（～8日）
7日 さくら市戦没者慰霊祭
11日 議会広報委員会
12日 議会運営委員会

11月

16日 JAまつり
19日 議員全員協議会
議会運営委員会
総務常任委員会
文教厚生常任委員会
25日 例月現金出納検査
県北五市議長会議
28日 第4回定例会開会
議員全員協議会
議会運営委員会
議会広報委員会
29日 第4回定例会一般質問

12月

2日 第4回定例会一般質問
4日 さくら市小学校駅伝競走大会
5日 建設経済常任委員会
6日 総務常任委員会
8日 塩谷地区駅伝大会さくら市選手団出発式
塩谷地区駅伝競走大会（開会式）
9日 文教厚生常任委員会
10日 予算決算常任委員会（補正予算）
17日 第4回定例会閉会
議員全員協議会
議会運営委員会
19日 法令外負担金審議特別委員会
塩谷市町村議会議長会
21日 こども絵画展表彰式
24日 栃木県高根沢町議会まちづくり常任委員会視察来訪
25日 例月現金出納検査
財政援助団体等監査
さくら市公共下水道審議会

どうなったんべ あの 質問



「地域おこし協力隊」 について

平成27年 第4回定例会
平成28年 第2回定例会

令和5年 第2回定例会
令和6年 第2回定例会

現状は…

地域おこし協力隊は、都市住民を地方に派遣して地域活性化を図り、最大3年の活動期間終了後は、その地域に定住してもらうことを目的としています。
これまでさくら市では、多くの応募を期待して活動内容を協力隊員の自由裁量で募集した結果、5年間で2名の着任に留まっております。

多くの自治体で活躍し、地域活性化の一任を担っている隊員の姿が紹介されている中で、本市においても抜本的な改善が望まれていたことから、募集テーマを明確にすることで、5名の募集があり活動しています。

今後は…

令和7年度当初からは更なる増員を目指し、追加の隊員を募集しました。募集のテーマとして「農業×子育て移住」「観光×インフルエンサー」を掲げ、どちらも定員を2名としました。結果は、どちらのテーマも定員以上の応募があり、今後、審査が行われることとなりますが、審査の結果によっては、最大4名の隊員が新たに加わり、総員は、さくら市としては過去最大の9名になる

ことになります。
今後、益々の地域おこし協力隊の活躍に期待してください。



現在活動中の5人の地域おこし協力隊

市民の声

ジュニアリーダーになろう!

さくらリーダースクラブ

会長 高塩 結愛 (金枝)



さくらリーダースクラブは、市内在住・在学の中学生と高校生が所属している団体です。レクリエーションやバルーンアートを中心に、子どもたちを対象とした地域のイベントの支援を通じて、それぞれが成長できるように活動しています。毎月第2・4土曜日に定例会を行い、支援に向けた準備や練習をしています。また、県や関東ブロック等の研修会を通して、※ジュニアリーダーとしての知識や技能を習得しています。昨年は塩谷南那須地区内のジュニアリーダーとの交流会や、宇都宮リーダースクラブと共同で支援を実施する等、世代や地域を超えた交流を盛んに行いました。今年も一緒に活動するメンバーを4月に募集します。中高生のみなさんぜひ応募してください! 待ってます! 市議会の皆さまには、子どもが楽しく過ごせる居場所づくりをお願いしたいです。



《表紙写真》さくらリーダースクラブ

対象：中学生・高校生

内容：※ジュニアリーダー

(子どもを対象とした地域イベント支援)

お問い合わせ：さくら市教育委員会

生涯学習課 ☎028-686-6621

議会だよりでは、表紙写真のモデルになってくださる団体を募集しています。

ご興味がある方は右記さくら市議会事務局までお問い合わせください。

さくらリーダースクラブが参加してくれた
 『議会報告会』のYouTube動画もぜひご覧ください



議会報告会
 (第1部)

第2部に出演しています
 議会報告会
 (第2部)



永井 孝叔 福田 克之 岡村 浩雅 大河原 千晶 落合 千枝子

副委員長
 加藤 誠一

委員長
 加藤 朋子

洪井 康男

石岡 祐二

議会広報委員会

お知らせ

次回

3月定例会予定 2月26日(水)~3月21日(金)
 一般質問 2月27日・3月3日・4日

◎正式な日程は、議会運営委員会にて決定いたします。



さくら市議会ホームページ